

(様式 1 - 3)

福島県(浪江町)帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票

令和 7 年 1 2 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	270	事業名	被災地域農業復興総合支援事業（野菜等集出荷貯蔵施設等整備）浪江町（基金型）		事業番号	(5) -43-61
交付団体		福島県	事業実施主体（直接/間接）		浪江町（間接）	
総交付対象事業費		1, 724, 595（千円）	全体事業費		1, 724, 595（千円）	
帰還・移住等環境整備に関する目標						
<p>&lt;現状&gt;</p> <p>平成 2 3 年に発生した東日本大震災に伴う原子力発電所事故により、浪江町では全町避難に伴い農家の離農等が相次ぎ、農地保全や農業用施設の管理ができず、農地の荒廃や農業用施設の損失を余儀なくされた。</p> <p>町では、震災前約 2, 034ha で営農が行われていたが、令和 6 年度末の営農再開面積は約 666ha、営農再開率約 32. 7%に留まっている。</p> <p>現在、浪江町では避難指示解除に伴い、福島県営農再開支援事業による農地の保全管理等、営農再開に向けた取組が行われており、主力作物の水稻に加え、新たな振興品目として園芸品目（花き類）、麦・大豆等の土地利用型作物の生産に取り組んでいる。</p> <p>加えて、令和 6 年度に地域ごとに策定した「地域計画」では、浪江町として地域全体をどのように営農再開していくのか農業者や農地所有者等と令和 5 年度より 100 回を超えるコミュニケーションを図ってきたところである。</p> <p>その地域計画策定の中で明らかになった課題は、担い手の不足や高齢化、避難先からの通作、農業機械や設備等に対する負担増など多岐にわたる。</p> <p>特に、農業者個人で整備した施設や共同で利用していた野菜等の調整設備や大豆等の乾燥調製施設は、震災前のものが長期避難等の影響で使用できない状況となっている。現状では、個人作業による選別や調整を行ったり、農業者同士で稼働可能な小型農機具等を融通し合うなどして対応する状況となっており、農業者の作業の負担が大きく且つ生産性も上がらないことから、生産意欲の低下が懸念される。また、新たな振興品目となった花き類の栽培については、震災後の避難指示解除区域において盛んに行われるようになり、県外からの評価も非常に高い。町内の避難指示解除区域に於ける営農再開の推進と、今後主力となるこれら作物の事業拡大を図る為、新たな施設の整備が急務となっている。</p> <p>&lt;農業復興の方向性&gt;</p> <p>多岐にわたる課題がある中、地域の共同利用施設を整備することにより、農業者の負担を軽減しつつ、野菜、大豆、麦、花きなどの生産面積の拡大と品質向上を実現することで、収益力の向上を図り、農家の生産意欲向上につなげる。また、事業実施による農業の生産基盤の整備により、町民の帰還・移住及び営農再開を促進させるとともに、生産活動への専念ならびに農業振興により意欲ある農業者の確保及び地域農業の再建を図る。</p>						
事業概要						
<p>農業者が生産活動に集中できる施設として、野菜等集出荷貯蔵施設、大豆等乾燥調製施設、花き集出荷施設を整備することで、農業者の営農再開に向けた不安を解消し、町民の帰還と意欲ある農業の担い手による営農再開の加速化を図ることを目的とする。この目的の達成のため、各施設の本体工事を行うものである。</p> <p>&lt;整備内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 予定地：浪江町大字酒田地内</li><li>・ 敷地面積：8, 819. 1 m<sup>2</sup>（町有地）</li><li>・ 施設概要 野菜等集出荷貯蔵施設 1 棟、大豆等乾燥調製施設 1 棟、花き集出荷施設 1 棟、ハイマストフォークリフト 1 台</li><li>（1）野菜等集出荷貯蔵施設：（1, 651. 00 m<sup>2</sup>）</li><li>・ 目的：野菜、枝物、その他花きの集荷、選別・調製、予冷、出荷を行う。</li></ul>						

- ・導入設備：原料及び製品置場、長ネギ・ブロッコリー調整選別設備、予冷库（野菜用・花き〔枝物類・その他花き用〕）、残渣処理室、等
  - ・取扱品目：長ネギ、ブロッコリー、花き枝物類、その他花き
  - ・目標取扱量（R12 目標）（長ネギ・ブロッコリー）：2,346 t /年（長ネギ 67.0ha 2,126t、ブロッコリー21.0ha 220t）  
（R12 目標）（枝物類・その他花き）：360 千本/年（枝物類 6.0ha 178 千本、その他花き 1.0ha 182 千本）
  - ・受益面積（計画目標）：95.0ha
- （2）大豆等乾燥調製施設：(401.07 m<sup>2</sup>)
- ・目的：大豆、麦の乾燥調製を行う。
  - ・導入設備：荷受設備、乾燥設備、タンク設備、調整出荷設備、集塵設備
  - ・取扱品目：大豆、麦
  - ・目標取扱量（R12 目標）：182 t /年（大豆 40.0ha 60t、小麦 48.8ha 122t）
  - ・受益面積（計画目標）：88.8ha
- （3）花き集出荷施設：(225.00 m<sup>2</sup>)
- ・目的：トルコギキョウの選別・調製、梱包、出荷を行う。
  - ・導入設備：原料置場、箱詰め設備
  - ・取扱品目：トルコギキョウ
  - ・目標取扱量（R12 目標）：300 千本/年
  - ・受益面積（計画目標）：1.5ha

#### <市町村計画等>

浪江町復興計画【第三次】P30～31

#### 施策1 農林水産業の再興

##### （1）農業の再開

##### 施策の展開

- ア 農業の担い手の確保
- イ 営農再開の推進
- ウ 農業生産基盤の再生と強化

#### 当面の事業概要

<令和7～8年度> 建築工事 1,724,595 千円（第53回申請）

以下参考（単年度型事業）

<令和6年度> 建築実施設計委託 49,108 千円（第48回申請済）

<令和7年度> 建築確認申請等手数料 972 千円（第52回申請済）

#### 地域の帰還・移住等環境整備との関係

当町の基幹産業は農業であり、地域が再生し復興するためには農業の再生・復興が必要不可欠である。  
本事業で集出荷貯蔵施設等を整備し、外部からの法人参入を促すことで、その取り組みを見た地元農業者の営農再開や農業振興意欲への波及によって住民の帰還を促進させ、営農再開による町全体農業振興並びに地域再生を図る。

また、本事業を実施することにより、施設で9名の住民を雇用することを想定している。加えて、当該施設の利用促進を図ることにより、営農再開面積の拡大と農業による雇用者数の増加が期待される。

#### 関連する事業の概要

##### ○効果促進事業

野菜等集出荷貯蔵施設等敷地造成事業（浪江町）

<令和6年度> 造成測量設計委託 24,664 千円（第48回申請済）

<令和7年度> 造成工事 136,147 千円（第51回申請済）

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	



## 株式会社パスコ調製

